

2023-2024年度
上野東ロータリークラブ クラブスローガン「三十九の人
三十九の場を始めて
例会の始まらんとす」

週報

WEEKLY REPORT 2023-2024



世界に希望を生み出そう

事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

1989/No.6

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会 第1990回 2023年8月24日(木)

開会点鐘 12:30

ソング RCソング『日も風も星も』『少年時代』

ゲスト・ビジターご紹介

食事の時間

出席報告・会長の時間・幹事報告

ニコニコボックス・委員会報告・同好会報告

本日の行事

「どうする会員増強」前地区増強委員長 中村 薫 様

閉会点鐘 13:30

前回の例会 第1989回 2023年8月9日(水)

「ガバナー公式訪問4クラブ合同例会」

開会点鐘 12:30

ソング 国歌『君が代』RCソング『奉仕の理想』

ゲスト・地区役員紹介

食事の時間

会長の時間

出席報告

ニコニコボックスの報告

委員会報告・同好会報告

ガバナー紹介・ガバナー卓話・謝辞

閉会点鐘 13:30

◇ガバナー公式訪問 会長・幹事懇談会

日時) 令和5年8月9日(水) 11:15~12:15 13:30~14:30

場所) 3F 名張商工会議所 「会頭室」もしくは「特別会議室」

出席者) 篠原一行ガバナー 辻原宣和ガバナー補佐 山本和彦地区代表幹事

河人宗寿地区幹事 (同行者) 大村浩司会員 各クラブ会長・幹事

内容) 司会進行/辻原ガバナー補佐 ※各クラブ 約30分

懇談順序 / ①11:15~名張RC ②11:45~上野RC

③13:30~上野東RC ④14:00~名張中央RC

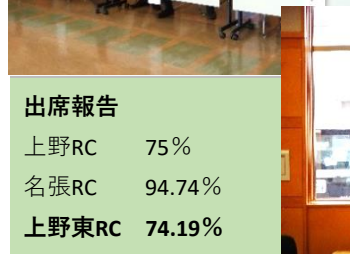
◇ガバナー公式訪問4クラブ合同例会プログラム

※敬称略

例会回数 ①上野RC 3332回 ②名張RC 2746回
③上野東RC 1989回 ④名張中央RC 1272回

司会進行)	ホストクラブ名張中央RC副会長)	足立 淑 絵
例会場所)	名張産業振興センター アスピア 1F	
12:30 開会点鐘	名張中央RC会長)	市川 裕 規
ソング斉唱	国歌『君が代』RCソング『奉仕の理想』	若本 元 照
ゲスト紹介及び	名張中央RC会長)	市川 裕 規
地区役員紹介	国際ロータリー第2630地区 ガバナー)	篠原 一 行
	" 中勢・伊賀グループ ガバナー補佐)	辻原 宣 和
	" 地区代表幹事)	山本 和 彦
	" 地区幹事)	河人 宗 寿
	ガバナーエレクト、青少年交換委員会委員	亀井 喜 久 雄
	ロータリー財団部門・学友委員会カウンセラー、危機管理委員会委員、バストガバナー	
	(危機管理委員会委員)	田山 雅 敏
	地区財務委員会委員	廣野 一 三
	地区会員増強委員会委員	神戸 照 男
	青少年交換委員会委員	奥田 哲 也
	R平和フェロシップ小委員会委員(奨学金・学友担当)	山内 勝 巳
	インターアクト副委員長	北森 隆 文
	同行者(多治見リバーサイドRC会員)	大村 浩 司
12:35 食事・ご歓談		
12:50 会長の時間	名張中央RC会長)	市川 裕 規
12:55 出席報告	上野RC)	堀川 紘 一郎
	名張RC)	中森 孝 栄
	上野東RC)	西 三 郎
	名張中央RC)	生田 亮 司
	名張中央RCニコニコBOX委員長)	玉置 英 治
13:00 ガバナー紹介	R1第2630地区 中勢・伊賀G ガバナー補佐)	辻原 宣 和
ガバナー卓話	R1第2630地区 ガバナー)	篠原 一 行
謝 辞	次年度ホストクラブ 上野RC会長)	山本 祐 昭
13:30 開会点鐘	名張中央RC会長)	市川 裕 規

以上



出席報告

上野RC 75%

名張RC 94.74%

上野東RC 74.19%

名張中央RC 84.21%

ニコニコボックス

篠原一行ガバナーより 4クラブ合同例会を祝して
上野RC榊原様 篠原ガバナー、亀井ガバナーエレクト、
田山バストガバナー、辻原アシスタントガバナー、河
人地区幹事、インターアクト年次大会ご出席ありがと
うございました。

上野東RC中井様 本日はお世話内なります。

市川会長より 4クラブ合同例会よろしくお願いた
します。

名張中央会員の内容は会報に記載いたします。



国際ロータリー第2630地区

2023-24年度 ガバナー 篠原 一行

1. 各クラブの皆様方には、日頃より、地区運営にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。本年1月に、国際協議会に出席しました。長くサンディエゴで開催されていた国際協議会ですが、浦田パストガバナー年度から、アメリカフロリダのオーランドで開催されるようになりました。コロナの影響で3年ぶりの現地開催となりました。浦田パストガバナー、高橋直前ガバナーはリモートで参加されています。皆さんご存じの通り、オーランドと言えば、数々の有名なテーマパークのある所です。
2. RI会長のテーマは、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」であります。私たちの目標は、紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となるでしょう。平和とは、希望が根づくための土壌です。世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができると思います。ロータリーは、これまでの多くの奉仕プロジェクト事業を通して、多くの人に多くの希望を与える活動を実践してきました。これこそ、ロータリーが、世界にもたらしている変化ではないでしょうか。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出していけると思います。平和とは、紛争や戦争が無くなることは勿論ですが、治安が良いこと、貧困や飢餓がなくなること、家族と平穏に暮らせること、人として最低限の文化的な生活ができることではないでしょうか。そのために、ロータリアンは奉仕の心をもって、未来のために多くの課題の解決に取り組んできました。これからも、世界に希望を生み出すためには、多くの人たちに希望を持ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。そのためには、「奉仕の心」を常に持って、そして「未来の人たちのため」に、それを「つなげていくこと」が大切と考えています。私のガバナーとしての地区方針は、「奉仕の心を未来へつなげよう」です。
3. 日本のロータリーは、例会をとっても大切にしています。「Enter to learn, Go forth to serve 入りて学び、出でて奉仕せよ」例会の場で奉仕の理念を学び、外では奉仕の実践を！であります。日本には素晴らしい『地域』があって『ロータリー』があって『ロータリアン』がいます。例会で多くのことを学び、奉仕の心を磨き、奉仕の実践をして、奉仕の心を多くの人たちにつなげていくことで奉仕の輪が広がり、地域社会の発展、広くは世界の発展、世界平和に貢献できるようになるでしょう。私たちが、未来のために共に行動しようではありませんか。
4. 例会は、職業人としての倫理を向上させ、理念の浸透を図り、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしましょう。例会のプログラムを工夫するなどして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。中でも会長挨拶はとても大切であると思っています。また、多くのクラブが、クラブ研修リーダーを選任していただいています。クラブを活性化するためにも、クラブ内での研修活動を定期的実施することは効果的と考えます。ロータリーの理念やロータリーの素晴らしさが身に付けば、クラブの強化につながると考えます。それが強いて言えば会員増強にもつながると考えます。入会して3年未満で辞める方が50%近くいます。ロータリーの理念も、ロータリーの素晴らしさも理解しないでやめていかれることは、本当に残念でもったいないと思います。
5. 次に、日本のロータリーは、職業奉仕、4つのテスト、ロータリーの目的、例会を重視してきました。そして、ロータリーの二つの公式標語である「超我の奉仕」は、奉仕の哲学を表しています。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これは実践論です。他者に対する正しい経営の科学のみが引き合います。日本のロータリーでよく話される近江商人の三方よしです。大切なことは、世間良しです。
6. また、ロータリーの定義として、2010年に出されたロータリーの中核的価値観というものがあります。『奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ』の5つです。ロータリーの目標でもあり、ロータリーを定義づける不変的な価値観です。

7. そして、2017年に、私たちロータリアンは、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明が出されました。これを実践するための戦略計画があります。『より大きなインパクトをもたらす。参加者の基盤を広げる。参加者の積極的なかわりを促す。適用力を高める。』です。先ほどの5つの価値観、ビジョン声明を達成するための戦略計画といえます。

8. よって、「会員基盤の強化」が大変重要となってきます。日本のロータリーは、25年前に約13万人でしたが、今は約8万人弱です。若い世代や経験豊富な退職者世代、また性別を問わず入会していただきたいものです。クラブは、多様性・ダイバーシティの概念を念頭において、仲間を増やす工夫をして頂きたいものです。世界で女性会員の割合は約25%ですが、日本は約7%です。全体の会員数はコロナの影響でここ3年間は減少しており、大変厳しい状況です。各クラブ平均1人増えれば、地区全体で73人増えます。会員の多いクラブは、更に増員増強にご尽力をお願いします。そのためには、クラブを魅力あるものにすることが肝要と考えます。そして一人一人の会員と向き合い、意欲を持って奉仕活動をする事ができる会員が数多く存在することが、クラブの魅力になるのではないのでしょうか。元気で居心地の良いクラブづくりに積極的に取り組んでいってほしいと思います。

9. そして、「DEI、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン。」あまりなじみのない言葉かもしれませんが、現在とても大切なワードとして私は地区方針にうたっております。この取り組みは、多くの企業で推進されています。当地区では、昨年度よりD・E・I委員会を立ち上げ、誰でも活躍できるロータリーに推進していきます。

10. ここで公共イメージと認知度の向上についてお話しします。「ロータリー」は意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかはあまり知られていないようです。我々の活動が世間に認知されることで、我々の励みにもなると 생각합니다。奉仕活動の機会を捉え、クラブがこれまで行ってきた活動を伝えるとともに、ロータリーが国際的なネットワークで実践している「ポリオ撲滅」に力を入れていることなども伝えていきたいです。

11. ロータリーの奉仕は皆さんご存じの通り、五大奉仕です。5つの内、国際ロータリーRIが実際に携わって実施しているのは青少年奉仕だけです。ロータリーのキーワードは「未来のため」です。RIは青少年交換・インターアクト・ローターアクトに力を入れています。共にとても素晴らしい事業です。全てロータリーファミリーです。

12. さらに2015年以降、SDGsがよく語られています。2030年までの持続可能な17の目標を改めてかいつまんでみますと、その多くが以前より、ロータリーの奉仕プロジェクトプログラムの中に組み込まれていることに気付かされます。以前は6つでしたが、「環境の保護」がプラスされて、7つの重点分野になりました。それを受け、各クラブがさらに様々な奉仕プロジェクトを実践するようになりました。『Doing good in the world 世界で良いことをしよう』そこで、ロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金制度を活用して、地域社会で、また海外で奉仕プロジェクトを実践して下さるようよろしくお願いします。

13. ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。あの有名なチャリティナビゲーターで、連続15年最高位の4つ星を頂いています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面においても高い評価を受けています。財団奨学生も素晴らしいです。皆さんご存じの緒方貞子さんや、国連の事務次長の中満泉さんを初め、数多くの財団奨学生が世界各地で大活躍してみえます。今後も世界に羽ばたく人材を育成することができるよう、財団へのご寄付、一人当たり150ドル以上を、引き続きよろしくお願いします。

14. ポリオは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。根絶した天然痘と同じで、媒体を通じてではなく人から人ですので、ネガティブではなくてポジティブに応援して頂きたいと思います。今年になって、アフガニスタンとパキスタンで6月20日までに6件発症が確認されています。残る0.1%のポリオの根絶が課題であり、ワクチン投与を続けなければなりません。日本でも毎年ポリオワクチン投与で約400億円使用しています。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続きポリオ・プラスへの寄付のご協力をお願いします。

15. 米山記念奨学生。ロータリーの米山記念奨学会の制度は、1952年に始まりました。戦後まもなくです。創設の目的は、「日本が再び戦争をしないという強い意志を持ち、そして、我々ロータリアンが平和を築く努力をする」、という趣旨です。日本で勉学・研究をしている留学生への支援を通じて、信頼関係を築き、留学生の皆さんに、世界平和の懸け橋となっていただくことを願って設けられたものです。留学生が、専門的な研究で成果を挙げられるとともに、これを機会に、各国のロータリアンとの交流を通じて、国際的な友好、信頼を深めていただき、日本と母国との懸け橋になって活躍して頂きますように願っています。米山記念奨学会への寄付も宜しくをお願いします。

16. ロータリー賞、RI会長特別賞を目指していただきたいです。3つの戦略的優先項目に沿っていくつか項目がありますが、それほど難しくはありません。予定者の段階で、マイロータリー、クラブセントラルから入力していただけます。

17. 元気なクラブ、魅力あるクラブ、居心地の良いクラブとは、親睦や例会を会員が楽しみ、ロータリーを通じて友人が増え、みんなの知識レベルやロータリーの理解が深まり、奉仕活動を通じて世の中の為に良いことをしているという喜びを実感できるクラブではないでしょうか。そして、新しい会員が入って仲間が増え沢山の同好会があり、他のクラブとも交流があるクラブにしていきたいものです。ロータリーに大切なことは、多様性と寛容な心だと思います。ロータリーは時代とともに変化しています。固定観念に縛られない新しい風を取り入れて、皆で一緒になってより良い方向へ考えていきましょう。

18. ロータリーは、ロータリアン同士の親睦を重ねて、共に学び、そして社会に貢献する世界的な団体であります。日本で大切にされてきたロータリー観を一言で言えば、『親睦・学び・成長・奉仕』です。

19. マイロータリーでは、多くの正しい情報が得られます。日本国内34地区、第2630地区のマイロータリーへの登録率は約30%、全国平均より大変低いです。各クラブともぜひマイロータリーの登録をお願いします。入会と同時に登録しているクラブもあります。地区登録率50%目指して、重ねて宜しくお願いします。そしてもう一つ、ロータリーカードについてお願いがあります。個人とクラブ用、地区用、地区委員会用とありますが、クラブカードは、人頭分担保金やR財団への寄付金送金も、マイロータリーよりRカードで送金が大変便利です。地区カード、そして地区委員会カードの推進についても合わせてよろしくお願いします。使ったお金の0.3%がポリオに自動的に送信されます。

20. 最後になりますが、本年11月18日(土)に多治見市で地区大会を開催いたします。テーマは、「希望と未来を、あつく語ろう 多治見のまちで。」です。多くの皆様方のご登録、ご参加を宜しくお願いいたします。日本の伝統、しっかりとおもてなしをもって皆様方をお待ちしています。

山本地区代表幹事

皆さんこんにちは、11月の地区大会開催案内です、場所はバロー文化ホールにて大懇親会はセラミックパークMINO、女性アカペラコーラスグループのイベント、多治見のお食事、お酒を楽しんで頂きたいと思います。多くの方のご参加・ご登録お待ちしております。

謝辞 次年度ホストクラブ上野RC山本会長

まず初めに、8月1日に上野にとって37年ぶりのインターアクト年次大会が開催し、篠原ガバナー、亀井エレクトはじめ多くの役員の方にご参加いただきありがとうございました。

名張中央RCの方につきましては素晴らしい設営ありがとうございました。来年はこれを参考にしっかりとさせていただきます。本日はありがとうございました。

